

内科研修目標

A 経験すべき診察法・検査・手技

(3) 基本的な臨床検査

A 自ら実施し、結果を解釈できる。

その他 . . . 検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる。

必修項目 下線の検査について経験があること

* 「経験」とは受け持ち患者の検査として診療に活用すること

A の検査で自ら実施する部分については、受け持ち症例でなくてもよい

1) 一般尿検査 (尿沈渣顕微鏡検査を含む。)

2) 便検査 (潜血、虫卵)

3) 血算・白血球分画

A 4) 血液型判定・交差適合試験

A 5) 心電図 (12誘導)、負荷心電図

A 6) 動脈血ガス分析

7) 血液生化学的検査

・簡易検査 (血糖、電解質、尿素窒素など)

8) 血液免疫血清学的検査 (免疫細胞検査、アレルギー検査を含む。)

9) 細菌学的検査・薬剤感受性検査

・検体の採取 (痰、尿、血液など)

・簡単な細菌学的検査 (グラム染色など)

10) 肺機能検査

・スパイロメトリー

11) 髄液検査

13) 内視鏡検査

A 14) 超音波検査

15) 単純X線検査

17) X線CT検査

B 経験すべき症状・病態・疾患

1 頻度の高い症状

必修項目 下線の20症状を経験し、レポートを提出する

*「経験」とは、自ら診療し、鑑別診断を行うこと

- 2) 不眠
- 5) 浮腫
- 6) リンパ節腫脹
- 7) 発疹
- 9) 発熱
- 10) 頭痛
- 11) めまい
- 14) 視力障害、視野狭窄
- 15) 結膜の充血
- 19) 胸痛
- 20) 動悸
- 21) 呼吸困難
- 22) 咳・痰
- 23) 嘔気・嘔吐
- 26) 腹痛
- 27) 便通異常（下痢、便秘）
- 28) 腰痛
- 31) 四肢のしびれ
- 32) 血尿
- 33) 排尿障害（尿失禁・排尿困難）

3 経験が求められる疾患・病態

必修項目

1. A 疾患（10項目）については入院患者を受け持ち、診断、検査、治療方針について症例レポートを提出すること
2. B 疾患（38項目）については、外来診療又は受け持ち入院患者（合併症含む。）で自ら経験すること

※ 全疾患（88項目）のうち70%（AB以外で14項目）以上を経験することが望ましい

（1）血液・造血器・リンパ網内系疾患

- B (1) 貧血（鉄欠乏貧血、二次性貧血）

（2）神経系疾患

- A (1) 脳・脊髄血管障害（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血）

（5）循環器系疾患

- A (1) 心不全

- B (2) 狭心症、心筋梗塞

- B (4) 不整脈（主要な頻脈性、徐脈性不整脈）

- B (6) 動脈疾患（動脈硬化症、大動脈瘤）

- A (8) 高血圧症（本態性、二次性高血圧症）

（6）呼吸器系疾患

- B (1) 呼吸不全

- A (2) 呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）

- B (3) 閉塞性・拘束性肺疾患（気管支喘息、気管支拡張症）

（7）消化器系疾患

- A (1) 食道・胃・十二指腸疾患（食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎）

- B (2) 小腸・大腸疾患（イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔瘻）

- B (4) 肝疾患（ウイルス性肝炎、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物性肝障害）

- B (6) 横隔膜・腹壁・腹膜（腹膜炎、急性腹症、ヘルニア）

(8) 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む。)疾患

A (1) 腎不全(急性・慢性腎不全、透析)

B (4) 泌尿器科的腎・尿路疾患(尿路結石、尿路感染症)

(10) 内分泌・栄養・代謝系疾患

A (4) 糖代謝異常(糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖)

B (5) 高脂血症

(14) 感染症

B (1) ウイルス感染症(インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎)

B (2) 細菌感染症(ブドウ球菌、MRSA、A群レンサ球菌、クラミジア)

B (3) 結核

(15) 免疫・アレルギー疾患

B (2) 関節リウマチ

B (3) アレルギー疾患

(18) 加齢と老化

B (1) 高齢者の栄養摂取障害

B (2) 老年症候群(誤嚥、転倒、失禁、褥瘡)

C 特定の医療現場の経験

(6) 緩和・終末期医療(詳細は 臨床研修の到達目標 参照)

必修項目 臨終の立ち会いを経験すること